

コンゴ・キンシャサの 都市交通データ可視化

オリコンサル
グローバルら

オリエンタルコンサルタンツグローバルらは、コンゴ・キンシャサ市の都市交通に関する多様なデータを可視化したツール「都市交通ダッシュボード」を開発し、5月29日にネットで公開した。ダッシュボードによって市内の人の動きと交通ネットワークを可視化。

いつ、どこで、どんな人が、どの交通手段で市内を移動しているのかを把握でき、一般公開することで街づくりや都市交通の改善につなげる。

同30日に土木学会がオンラインで開催した「第4回土木技術者実践論文集研究発表会」で、ダッシュボードを共同開発した同社とロケーションマインド（東京都千代田区、桐谷直毅代表取締役兼最高経営責任者〈CEO〉）が、ダッシュ

ボードの実装を通じて得た知見を報告した。

ダッシュボードはオリコンサルグローバル・アンジェロセック・アジア航測が従事するコンゴの「キンシャサ市都市交通マスタープラン実施促進プロジェクト」の一環で開発した。交通調査を実施した2017年時点の人の動きと交通ネットワークを可視化した。同プロジェクトは国際協力機構（JICA）の技術協力として、同市の都市交

通マスタープラン実現に向けた現地関係者の能力強化が目的。都市交通ダッシュボードの開発・実装と、継続的な運用に向け現地への技術移転を実施している。

都市交通マスタープランダッシュボードとして「都市交通マスタープラン提案プロジェクト可視化ツール」も開発した。都市交通マスタープランで提案された交通インフラ関連のプロジェクトを一体的に可視化している。